

上越市、「サービス水準の見直しも視野に入れた歳出の構造改革」 総括質疑で、市民サービス切り捨てにつながる懸念を表明

3月議会が3日から始まりました。村山市長による所信表明と提案理由の説明を受けて、私を含めて6議員が総括質疑を行いました。

総括質疑で私がとり上げたのは、普通交付税の合併特例措置の段階的な縮小と新たな支援措置、市が所有する施設の長寿命化、「歳出の構造改革」、総合事務所産業建設グループ集約の試行と災害対策などです。いずれも、常任委員会において議論を深めていくうえで基本的な問題提起となるよう心がけました。

このうち、「歳出の構造改革」については、市長が所信表明で「歳出の構造改革」を言われたので、「行政サービスの水準低下につながる懸念はないか」と問うたところ、財政計画策定にあたっては、「サービスを受ける皆さんの負担能力を考慮した給付の実施など、サービス水準の見直しも視野に入れた歳出の構造改革が不可欠であり、市民の皆さんに少なからず我慢していただくことや負担を伴う見直しは避けて通ることができない」との答弁が返ってきました。



返ってきた見直しをされる予定の紙おむつ助成事業などの動きを見ていると、今後、市民生活に大きな困難をもたらす導火線にならないかと心配になります。

総合事務所の産業建設グループ集約の問題については、「今後予想される大きな災害対策でも効果を発揮できると判断しているのか」「実際にサービスを受けた人々からの声をどう集約したか」を問いました。市長は、「(平成25年度は)幸い大きな災害とはならなかったが、これからの実践により得られた経験を積み重ね、今後の実践により得られた経験を積み重ね、市民の安全・安心の確保のため、迅速かつ確実な対応を図れるものと考えている」「サービスを受けた方からは速やかな処理に対するお礼や『不便は感じない』などの声を始めとして、迅速な対応や円滑な行政サービスの提供を評価する声も多数お聴きするようになったと報告を受けている」と答えました。今後、点検が必要で

日米共同訓練止めよと集会、デモ

関山演習場で行われている日米共同訓練反対集会とデモが2日、高田で行われました。主催は「日米共同訓練反対上越地域の会」。上越、妙高市内だけでなく、長野や富山、新潟、長岡、糸魚川などからも大勢のみなさんが駆けつけてくださいました。



集会では、訓練が始まってから、関山演習場に2回来て、監視行動をした長野県平和委員会

の永井さんが、実際の雪の中での訓練の様子を生々しく報告し、注目されました。先日、訓練反対を県知事に申し入れた新潟県平和委員会の関根さんは、なぜ訓練に反対するのかを丁寧に語りました。

地元の日本共産党を代表して私から連帯の挨拶をさせていただきました。午前には観たばかりのドキュメンタリー映画「標的の村」の感想を交え、日米共同訓練は「戦争の訓練」であり、「平和を崩す」ものだとして強調し、沖縄県民の不屈の闘いに学びたかおうと訴えました。

吉川高等特別支援学校の生徒が市役所訪問

県立吉川高等支援学校1年生が先月28日、市役所の木田庁舎に来てくれました。5階の議会フロアは私が案内役を務めました。

「ここってどんなことを話しあっているんですか」「村山さんはどこに座っているんですか」など質問続出でした。木田庁舎滞在の予定時間は1時間でしたから、5階での説明が20分というのには長すぎだったかも知。久しぶりに1年生と再会できてよかったです。



【オーレン】今年も野の花が咲き始めました。一番最初に見つけたのはオオイヌノフグリ、そしてこのオーレン、キクザキイチゲと続きました。オーレンはキンポウゲ科の多年草。写真は吉川区代石にて撮影。

上越市、「サービス水準の見直しも視野に入れた歳出の構造改革」 総括質疑で、市民サービス切り捨てにつながる懸念を表明

3月議会が3日から始まりました。村山市長による所信表明と提案理由の説明を受けて、私を含めて6議員が総括質疑を行いました。

総括質疑で私がとり上げたのは、普通交付税の合併特例措置の段階的な縮小と新たな支援措置、市が所有する施設の長寿命化、「歳出の構造改革」、総合事務所産業建設グループ集約の試行と災害対策などです。いずれも、常任委員会において議論を深めていくうえで基本的な問題提起となるよう心がけました。

このうち、「歳出の構造改革」については、市長が所信表明で「歳出の構造改革」を言われたので、「行政サービスの水準低下につながる懸念はないか」と問うたところ、財政計画策定にあたっては、「サービスを受ける皆さんの負担能力を考慮した給付の実施など、サービス水準の見直しも視野に入れた歳出の構造改革が不可欠であり、市民の皆さんに少なからず我慢していただくことや負担を伴う見直しは避けて通ることができない」との答弁が返ってきました。

返ってきた見直しをされる予定の紙おむつ助成事業などの動きを見てみると、今後、市民生活に大きな困難をもたらす導火線にならないかと心配になります。



総合事務所の産業建設グループ集約の問題については、「今後予想される大きな災害対策でも効果を発揮できると判断しているのか」「実際にサービスを受けた人々からの声をどう集約したか」を問いました。市長は、「平成25年度は幸い大きな災害とはならなかったが、これまでの実践により得られた経験を積み重ね、また、今後とも点検と改善を続けることで、市民の安全・安心の確保のため、迅速かつ確実な対応が図れるものと考えている」「サービスを受けた方からは速やかな処理に対するお礼や『不便は感じない』などの声を始めとして、迅速な対応や円滑な行政サービスの提供を評価する声も多数お聴きするようになったと報告を受けている」と答えました。今後、点検が必要で

日米共同訓練止めよと集会、デモ

総合事務所の産業建設グループ集約の問題については、「今後予想される大きな災害対策でも効果を発揮できると判断しているのか」「実際にサービスを受けた人々からの声をどう集約したか」を問いました。市長は、「平成25年度は幸い大きな災害とはならなかったが、これまでの実践により得られた経験を積み重ね、また、今後とも点検と改善を続けることで、市民の安全・安心の確保のため、迅速かつ確実な対応が図れるものと考えている」「サービスを受けた方からは速やかな処理に対するお礼や『不便は感じない』などの声を始めとして、迅速な対応や円滑な行政サービスの提供を評価する声も多数お聴きするようになったと報告を受けている」と答えました。今後、点検が必要で

関山演習場で行われている日米共同訓練反対集会とデモが2日、高田で行われました。



主催は「日米共同訓練反対上越地域の会」。上越、妙高市内だけでなく、長野や富山、新潟、長岡、糸魚川などからも大勢のみなさんが駆けつけてくださいました。集会では、訓練が始まってから、関山演習場に2回来て、監視行動をした長野県平和委員会

の永井さんが、実際の雪の中での訓練の様子を生々しく報告し、注目されました。先日、訓練反対を県知事に申し入れた新潟県平和委員会の関根さんは、なぜ訓練に反対するのかを丁寧に語りました。

地元の日本共産党を代表して私から連帯の挨拶をさせていただきました。午前には観たばかりのドキュメンタリー映画「標的の村」の感想を交え、日米共同訓練は「戦争の訓練」であり、「平和を崩す」ものだとして強調し、沖縄県民の不屈の闘いに学びたかおうと訴えました。

関山演習場での軽油漏れ現場視察

5日午前、日米共同訓練中の関山演習場での軽油漏れ事故の現場へ行ってきました。



現地では、うっすらと油の匂いが漂っています。流れ出た量は約500リットル。すぐ傍の三箇用水にはオイルフェンスが張ってありました。地元の江口集落の方は、「すごい臭いがした。こんなことがあっては困る。この用水は中江用水とも合流するんだ」と怒りをあらわにされていました。

議会でも問題にします。



【オーレン】今年も野の花が咲き始めました。一番最初に見つけたのはオオイヌノフグリ、そしてこのオーレン、キクザキイチゲと続きました。オーレンはキンポウゲ科の多年草。写真は吉川区代石にて撮影。

俺は風邪をひくことなんてない。マスクをしている人を見ても、自分とはまったく無関係、そう思っていました。どんなに疲れていても、どんなに風邪がはやっていても、これまで風邪をひくことなどなかったのです。

そもそも風邪であろうがなんであろうが、寝込むようなことになったというのは、ここ数十年ありません。何十年も風邪をひかなかったことが、風邪とは無関係と思うほどの自信を産み出していました。

ところが三月議会の初日、めずらしく咳が何度も出ました。「あれっ、おかしいな」と感じ始めて数時間後、今度は体のたるさを感じるようになりました。他の議員のなかには私の顔色がおかしいと思っただ人もいたようです。これはまずいと判断し、その日も、その翌日も早めに家に戻りました。

考えてみれば、ここ一か月ほど土日の休みもなく動いてきました。疲れが出ても不思議はないし、風邪が流行しているのだから、うつる機会はそのくらいあります。議会の準備もあるがまずは眠ること、そう心がけて、早めに布団に入りました。ただ、やりたいことがいっぱいあると、なかなか眠れません。

それで、風邪をひき初めて三日目、「たまご酒」に頼ることにしました。普段、わが家にはビールはあっても、日本酒は置いてありませんので、近くのスーパーで紙パック入りのお酒を購入してきました。九〇〇ミリリットル、六二八円というとても安価な酒です。

私のたまご酒の作り方は極めて簡単。私が毎日使っている大きな白いカップの中に卵を入れて、よくかき混ぜる。次に砂糖を大きじ一杯入れ、よく混ぜる。お酒を適量に入れる。再びかき混ぜる。電子レンジに入れる。時間は最初一分程度にし、その後、様子を見てチンを繰り返す。今回は出来上がりまで約二分かかりました。

出来上がったたまご酒はとてもまろやかな、いい匂いがします。見た目は、そうです、卵入りプリンといったところでしょうか。口の中に入れたら、甘くて、とろりとした感触がふわっと広がりました。

たまご酒を飲んでからパソコンに向かい、ホームページを見たり、書き込みをしたり、目覚めたのは翌日の午前四時前でした。布団に入った時間から計算すると、七時間くらいはたっぷりと眠ったことになりました。

目を覚ました時、外は風が吹いていました。部屋のストーブの灯油がなくなったので外に出てみたら、雪がちらちらと舞っていました。うれしいことに、アノラックを着て歩いていると、頭のふらふら感はずでなくなっていました。まだ、ときどき咳き込むことがありますので、完全回復したとは言いませんが、たまご酒によって回復に向かい始めたことだけは確かです。

私がたまご酒に頼ることにしたのは子ども時代の記憶です。これを飲めば、たいがい風邪は治りました。作ってくれたのは母です。寝ているところへ母が持ってきてくれたたまご酒は、風邪の薬というよりは美味しい食べ物でした。飲めば眠くなります。そして今回と同じように、眠って、目を覚ますと体調がよくなっていました。たまご酒を飲んで私の姿を見て、妻も思い出したようです。「子どもの頃は、風邪をひくとたまご酒と果物の缶詰が食べられたもんね」と言って微笑みました。

紙おむつ助成事業に所得制限導入、批判相次ぐ

上越市は新年度から紙おむつ助成事業に所得制限を導入し、平成27年度からは市民税所得割非課税世帯だけしか助成しない方針を打ち出しました。右下の図は新年度の助成額。

紙おむつ助成事業については4日の総括質疑で私もふれましたが、5日の市議会厚生常任委員会でも問題となりました。とりあげたのは日本共産党議員団の平良木委員と市民クラブの柳沢委員です。

てくれているということで、心のよりどころになっている。考え直してほしい」と訴えました。

柳沢委員も、「介護保険事業に関して言えば、入所系（施設系）の施設を利用した場合、紙おむつを利用しても個人には負担がかかってこない。在宅系（居宅系）についてはその部分は、介護保険外の負担になってくる。介護保険の本来の趣旨からすれば、在宅系介護のなかで社会的な支援をやっていくというのが本来の姿だ。単純に（市民税所得割の）課税、非課税で線を引くというのはおかしい」と批判しました。

最初に質問したのは平良木委員。同委員は、「（いまの税の仕組みから言えば）所得が多ければ税負担は重くなって公平性は確保される。実際のサービスでは一律にするのが基本だ。要介護の方がおられるところには、市も手厚く支援し、社会としても支援し

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	2月26日(水)	3月5日(水)
上越南消防署	0.033	0.046
上越北消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.043	0.060
頸南消防署	0.047	0.043
東頸消防署	0.043	0.053
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.043	0.050

支給対象者		支給上限額	
市民税所得割課税世帯	要介護1.2の人	月額800円	現行1750円
	要介護3~5の人	月額1000円	現行2000円
市民税所得割非課税世帯	要介護1.2の人	月額3500円	左と同じ
	要介護3の人	月額4000円	左と同じ
	要介護4.5の人	月額5000円	月額4000円